

自 立 活 動 だ よ り NO. 16

令和3年10月25日(月)文責:佐方

A D X A D A X A D X A D A

自活の抽出指導はスクーターボードばかりやっているように見えるかも知れませんが,

## スクーターボードで遊ぶと、どんな効果が期待されるのでしょう?

スピード感やゆれなどの刺激は、身体を伸展させる筋の緊張を高める働きがあります。 スクーターボードの遊びでは、重力に抗して頭や足を上げる姿勢を保持したり、スピード感を楽し んだりする中で,複合的に全身の筋緊張を高めることがねらいとなります。

スクーターボードに伏臥位で乗ると,頭,肩,手,足はボードからはみ出てしまいます。この姿勢 で活動するためには、ボードからはみ出た身体部分を持ち上げなければなりません。そのため背中側 の筋緊張が高まるのです。スロープをすべり降りると、スピード刺激が入力されるため、さらに筋緊 張が高くなります。また、**フープを持って引っ張ってもらう遊びならば、手、ひじ、肩などの筋緊張** が複合された課題となります。

(引用:新・感覚統合法の理論と実践 坂本龍生・花熊暁

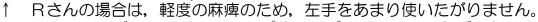
1997学研 )

ベルトでボードに体を固定することなく、自在にコントロール できています。





自分一人で乗ると, あごをボードに乗せて省エネで進もうとします。 フープを持たせスピードを上げると、筋緊張が高まります。 背中や首など、いろいろな部位の活性化が図れると考えて取り組ん でいます。



スクーターボードに乗り、ロープやフープで引っ張ってあげると、両手でしっかり持つこと ができるようになってきました。

また、砂の感触遊びに執着する傾向がありますが、スクーターボードによる刺激の方が砂遊 びの刺激に勝るのか,途中で砂を触っても,すぐにスクーターボードに切り替えることができ ています。



## プローンボード

普段立位を取ることのな い子どもは,立位台で立つ だけでも, ストレッチ効果 や骨への刺激が望めます。



「手型」を置くことで, どこまで行けば良いかが 分かり、動きやすくなり ました。